

女性のつながりサポート事業【伊丹市】

地域の実情と課題

伊丹市が所在する兵庫県は、本市からの就業者も多い大阪府とともに、3度の緊急事態宣言措置やまん延防止等重点措置の対象となった。失業等はなくとも、在宅勤務の増加や外出自粛等により、相当の長期に渡り、人との交流が制限されており、潜在的に孤独・孤立等の不安を抱える女性は、少なくないと考えられた。コロナ禍が長期化し、孤独・孤立で不安を抱える女性が、ためらわず相談できるよう誘導するとともに、市として、この機に支援ニーズの掘り起こしと把握を行い、孤独・孤立の相談先があることを周知して、社会や人とのつながりが希薄化しつつある女性を支援する。

事業の特徴

孤独・孤立等に特化した相談窓口をNPO法人に委託して設置し、NPOならではのきめ細かな窓口支援や、必要な市民に届きやすい周知を行う。

○相談窓口の新設

孤独・孤立に特化した相談窓口を新設する。相談しやすいよう、面談、電話のほか、メールでも対応する。相談内容に特定の原因がある場合は、関係課や他の行政機関と連携し、適切な支援を実施につなげる。

○案内カードの配布による周知と、相談者の掘り起こし

相談窓口の周知と相談者の掘り起こしのため、携帯型の案内カードを作成し、女性が訪れやすく手に取りやすい場所を選定して配布（設置）する。

事業の効果

孤独・孤立で不安な状態にありながら相談できずにいた女性が、相談員や必要な支援先とつながることにより、社会や人とのつながりを回復し、安心して自分らしく前向きに生きる契機とする。相談件数を90件を目標にしていた。

目的・目標

本事業において、相談件数の総数90件を目標と設定したが、相談件数結果は30件に留まった。相談者の掘り起こしのために、チラシやカードを学校、公共施設及び商業施設への配架するなど周知活動は徹底したものの、相談件数は目標に達しなかった。相談方法については、面談、電話及びメールを用意していたが、結果として面談20件、電話10件及びメール0件で、面談を希望する人が多く、コロナ禍で外出で制限がある中でも、孤独・孤立を感じて、人との接触を希望する人がいることが把握できた。

連携団体

本件受託NPO団体、市男女共同参画センター、社会福祉協議会、ハローワーク、市関係課

今後の課題

新型コロナウイルス感染症による社会の変化は、今後も継続するため、孤独・孤立した女性の悩み等を他の相談事業や交流事業において引き受けていくことが今後の課題となる。

事業の概要

女性のつながりサポート事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う失業や外出自粛で孤独・孤立で不安を抱える女性に対し、相談事業及び関係相談窓口等の周知で相談者の掘り起こしを行い、適切な相談・支援へつなげ、社会・人へのつながりを支援する。

1 相談窓口の新設と相談者の掘り起こしについて

相談者の掘り起こし

相談窓口を掲載したカード配布による相談者の掘り起こし
対象者が立ち寄りと思われる施設に、手に取りやすいカードを配置
→市内学校、こども食堂、図書館、ハローワーク、インターネットカフェ、商業施設等

	相談窓口	内容	予約	相談方法	相談時間
新設	女性のつながりサポート事業	新型コロナウイルス感染症拡大による孤独・孤立による不安	不要	面談 電話 メール	第3水曜日 第4土曜日 16時～19時
既設	女性のためのカウンセリング	家族との関係や職場の人間関係での悩み、自分の生き方で悩んでいる女性のための相談	必要	面談	毎週火曜日 10時～14時
既設	女性のための悩み電話相談	女性の日常生活上の悩みや心配事等	不要	電話	毎週月曜日 第1日曜日 10時～14時

2 相談に対する対応について

